

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

10月号 2016. 10. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方

TEL/FAX 043-497-5083

<http://www.marow.or.jp/chiba/>

啓発活動報告

野田七夕まつり

8月6日、7日 野田市恒例の「第65回野田夏まつり躍り七夕」が行われました。暑さ最高の中、人出も多く、踊りのパレードや出店のPRの掛け声等で尚更暑く感じました。それでも私としては色々な友人知人に会えて、笑顔で元気を確かめ合えるのは、とても嬉しいものです。

高橋さんには暑さ対策の冷たい飲み物を色々を用意して頂きました。大変重かったと思います。本当にありがたいことです。おかげさまで熟女パワー全開で大成功でした。夜遅くまで長時間お疲れ様、ありがとうございました。

最後の片づけの時、市内の料理屋さんの8歳の長女さんと7歳の長男さんが、大きな荷物を運んでくれるとのこと。「大きすぎる」と言ったのですが、「大丈夫」と言って一生懸命運んでくれました。その眼の凛々しかったこと、私は感動で涙が出そうでした。

時には幼子に学ぶと「魂の年齢は親だから高く、子だから低いのではない。」という言葉の思い出して帰宅致しました。(井野)



三井化学秋祭り

9月25日(日)、三井化学秋祭り(市原工場)が開催され、今年も9名の参加を頂き普及啓発と登録説明会を行いました。このところずっと台風や秋雨前線の影響で雨が続いていましたが、久しぶりに太陽が顔を出し、絶好のお祭り日和でした。

昨年に引き続き九州の田中幸一さんから融通戴いたおもちゃに千葉の会得意のペンシルバルーンに及び普天間さん(三井化学本社からの応援)親子が作成下さったグッズによる募金は、お子さんの関心を引き15,480円にもなりました。

登録説明者は、2名いらっしゃいました。内お一人は大変熱心で30分以上説明と質疑応答を行いました。

今年はジャグリングボランティアの後藤さんに来ていただき、色々パフォーマンスして頂きました。特に皿回しの人気が高く、お客様だけでなく我々も皆で挑戦しました。その他ウクレレ、鼻笛、箏パフォーマンスを実演頂き、大いに盛り上がりました。(梅田)



日本骨髓バンク 25周年記念大会 同意への必要性も理解

9月17日(土) 骨髓バンク設立25周年記念全国大会に、大学院で再生医工学を専攻している次男を誘い、参加してきました。

京都大学 iPS 細胞研究所の中畑副所長の記念講演は、再生医療用 iPS 細胞ストックの HLA ホモドナーに関するお話であり、非常に興味深いものでした。

私たちが、4月から登録の際にドナーさんに依頼をしている iPS 細胞ストックへの同意の必要性も理解できました。

次男に解説をしてもらいながら聞いていましたが、まだまだ課題はあるものの、この研究が順調に推移すれば、臓器等の再生も近い将来実現するでしょう。

この研究が進展し実用化される事を願って会場をあとにしました。

<追伸> 総合司会がテレビ東京の大江麻里子さんであることを知らなかったため、司会者席から一番遠い席に座ってしまったことが悔やまれます。(石橋)



10年ぶりにリーフレットを一新

千葉県内で骨髓バンクの普及啓発・患者支援活動を行う当会ですが、10年ぶりにリーフレットを作成しました。活動内容の紹介と共に、表紙にチラシ内部にと、県内各所での様々な活動写真が掲載されています。

この新リーフレットを活用して、県内での活動を更に増やし、骨髓バンクや患者さん、ドナーさんへの理解を広め、深めてもらいたいと思っています。

チラシを設置いただける会社・店舗さんを大募集中です！事務局までご連絡下さい。

**千葉骨髓バンク
推進連絡会**

白血病などの血液疾患の患者さんを支えるため、
日本骨髓バンクを支援するボランティア団体

〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marow.or.jp/chiba/>
郵便振替口座 00160 6 547168
ゆうちょ銀行 店番019057168

登録会報告

浦安市役所 8月8日(月)

説明員：西島夫妻

開庁2か月の新庁舎での登録会でした。古くて狭かった旧庁舎では骨髓バンクのデスクスペースもとれなかったとか。

熱心な市の担当者は自らも登録。次開催時、広報誌での登録会案内や1階ロビーでのパネル展開催の提案を頂きました。(当日は原爆のパネル展を開催中でした。)

メインロビーはとても見やすく、魅力的な場所でしたし、10階は市民解放の展望食堂になっていてすばらしい眺めでした。

早速パネル展に向けて、始動開始しています。(西島一)



登録 5人・説明 1人

君津市保健センター 8月9日(火)

説明員：円東、北村美

200名超の献血予定者のため、到着時から大勢のライオンズクラブの方々、日赤のスタッフの方々に活気あるスタートでした。

集団指導室には私たち骨髓バンクコーナーと医師の問診(医師は3名)、検査、そして献血も一緒でした。献血受付とタブレットはつながっている隣室の歯科保健室で行われ、バンク説明受講希望者は私たちのコーナーに案内される形でした。

通常、受付待ちの方や入口でギフトオブライフを渡してお声をかけますが、お声かけに行けないくらい次々と受講希望者がおみえになりました。

お話を聞いて下さったのは、職員の方、近隣にお住まいの方、近隣に勤務の方などさまざまな方々に嬉しく思いました。(北村美)



登録 13人・説明 11人

ユニモちはら台 9月10日(土)、11日(日)

説明員：10日西島夫妻、11日北村夫妻

2階ユニモホールで行われた登録会。両日の様子です。

10日は終日切れ目なく、献血者が訪れていて、年配者から若い人、家族連れと多岐にわたっていました。空手の先生でアンディ・フグが亡くなった時から気にされ「よい機会だ」と登録された方、21歳のお嬢さんと母子で登録くださった方。タオル帽子を置いていたこともあり、ご友人たちと手仕事をされている方から「皆で学んで寄付を」との申し出があり、近々講習会を行うことになりました。タオルキャップ講習会もだんだん広がります。(西島)

11日は朝からの雨で出足が悪く心配でしたが、熱心な声かけにより、2桁の登録者となりました。雨で子どもが外で遊べないので……とお子さんを連れた20代の男性は、白血病だった親戚がいたことをきっかけに、一緒に話を聞かれ、そろって登録されたご夫婦、友人のお子さんが白血病で登録を考えていらした方は「初めて説明を聞いた。子供がもう少し大きくなったら登録します」と説明のみでしたがチャンスを持って帰られました。

激しい雨の時間帯もあり、肌寒い日でしたが、多くの登録者を頂き、心は温かな1日になりました。(北村美)



10日 登録4人・説明2人



11日 登録10人・説明2人

津田沼献血ルーム 9月23日(金)

説明員：北村美、河口

天候は一日中強弱はあるにせよ雨が降っていましたが、街はにぎわっていて、献血ルームは波がありながらも、順調に進んでいたようでした。

登録してくださった二十歳の男性は、今、正にお父様が骨髓移植を兄弟の方から受けたばかりで、まだ無菌室にいらっしやるとの事。二度差しになってしまいましたが、動じることなく登録して頂きました。

終盤にさしかかったところで、お身内が移植を受けて6年位になり、ご本人はまだ体調に波があるが、ボランティアで何か関わりの気持ちを持っているとのこと。出来上がったばかりのパンフと名刺を手渡しました。登録会は登録者募集、啓発だけでなく、患者さんやご家族と当会をつなぐ機会でもあると再認識しました。(河口)



登録 2人・説明 2人

その他の登録会報告	8月	登録者	説明受講	説明員
船橋市役所	10日(水)	2人	0人	柴谷、河口
千葉県庁	12日(金)	7人	0人	北村美、梅田
千葉県庁	15日(月)	4人	1人	西島夫妻
千葉県庁	16日(火)	4人	5人	溝口、円東
袖ヶ浦市保健センター	17日(水)	7人	1人	円東、河口
旭市保健センター	19日(金)	3人	2人	北村美
松戸献血ルーム	24日(水)	2人	0人	河口
四街道市役所	24日(水)	3人	0人	北村美
モリシア津田沼店	26日(金)	4人	1人	円東、河口
白子町役場	26日(金)	2人	2人	北村美、久永
イオンモール成田	27日(土)	8人	3人	熊倉夫妻
イオンモール成田	28日(日)	7人	7人	石橋、円東
フルルガーデン八千代	28日(日)	2人	1人	柴谷、
習志野市役所	30日(火)	0人	3人	河口

その他の登録会報告	9月	登録者	説明受講	説明員
鎌ヶ谷市役所	2日(金)	1人	0人	河口、山口
フルルガーデン八千代	3日(土)	4人	0人	山本栄、円東
三井化学(株) 袖ヶ浦センター	5日(月)	1人	1人	西島隆、円東
君津市保健福祉センター	7日(水)	4人	1人	西島隆、一
千葉県市役所	9日(金)	2人	2人	河口、円東
住友化学(株) 袖ヶ浦地区	12日(月)	1人	4人	西島隆、一
印西市役所	13日(火)	2人	2人	円東、河口
フルルガーデン八千代	24日(土)	2人	1人	円東
野田市役所	27日(火)	2人	1人	柴谷
白井市役所	28日(水)	5人	0人	柴谷、山口
香取市役所	30日(金)	1人	2人	北村美、河口

日本骨髄バンク設立 25 周年記念 骨髄バンクチャリティコンサートと落語会

本年も「骨髄バンクチャリティコンサートと落語会」を、成田山新勝寺様、成田市をはじめとした皆様のご厚意、ご支援を賜り開催する運びとなりました。

今回で3回目となりますが、コンサートと落語、美しい新勝寺の紅葉、精進料理、参道のお店の散策など楽しみがいっぱいで、楽しかったとの声も多く聞かれるようになりました。また、本年は日本骨髄バンク設立 25 周年にあたり、移植により元気になられて元患者さんと骨髄提供者のミニトークも行います。どうぞ一日ごゆっくりお楽しみください。

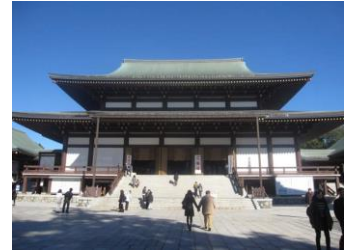
日時 11月19日(土)13:00~15:30

会場 成田山新勝寺信徒会館 4階ホール

出演者 落語:桂右女助師匠、弦楽二重奏:三戸素子さん・小澤洋介さん

演奏曲 ラヴェルのヴァイオリンとチェロのためのソナタほか。
途中、骨髄移植患者さんと提供者のミニトーク

定員と入場料 300人(先着順)・当日券有、大人 2,500円・学生 1,000円
精進料理 1,500円(希望者のみ)



*申し込み方法は枚数、送り先、連絡先を記入の上、FAXもしくはメールにて

FAX: 043-497-5083(北村) メール umedars@yahoo.co.jp(梅田)、

詳しくは千葉骨髄バンク推進連絡会ホームページ <http://www.marrow.or.jp/chiba/> をご覧ください。

チャリティコンサート&落語会こぼれ話 ~広報活動編~

成田山新勝寺コンサートと落語会の開催に向けて協賛のお願いに地元の商店街を訪問いたしました。今年は3つのグループに分けて、9月12日に北村事務局長、河口さん、山本の3名で楽しく回ってきました。協賛依頼も3年目になりましたので、訪問先で昨年のコンサートプログラムの協賛広告をお見せして説明すると「あ、骨髄バンクですね。」と好意的に協力頂けるお店が多く、だいぶ「骨髄バンク」になじみが出てきたと感じました。

歴史のある商店街ですが新しいお店に代わっている所もあり、今年のご理解頂けなかった商店にも来年はまたお伺いしてみたいと思っています。コンサート当日プログラムの協賛参加ページもご覧ください。(山本栄)

県内ドナー助成制度活動報告

松戸市における「骨髄バンクドナー助成制度」創設に関する陳情報告(前号より続き)

6月1日に松戸市議会事務局に資料30部を提出。3日と9日にかけて全会派を回り担当議員さんを訪問し、全員にバンクニュース、ギフトを配布、チャンスも各会派3~4部程度配布しました。皆さんとても熱心に話を聞いて下さり、時に厳しい質問も頂きました。行政としてやらなければならないことなどを具体的に話された議員さんもおられ、最後に「これは通るでしょう」との殆どの議員さんの言葉、手ごたえのある会派回りに充実した気持ちで議会棟を後にしました。

22日の健康福祉常任委員会で陳情趣旨説明の機会をいただきました。会場を見渡すと先日お会いした議員さんが殆どでした。また議員傍聴席にはこれまで助言をくださっている中田議員らがおられました。

陳情に対する趣旨説明後、各議員さんが質問、健康推進課課長と技監補の方が答弁されました。答弁の前には課長から陳情に対する2001年からこれまでの当会の活動も報告されました。11名の委員のうち正副議長を除き全員の委員さんが質問もしくは賛成の発言をされ、それに対しての担当課の答弁も日本骨髄バンクや当会事務局への問い合わせを行ったと思われ、よく調べられた内容で、担当課の熱意も感じました。最終的に全会一致で採択され本会議へ送られました。

28日の本会議最終日には柏献血ルームでの説明員の活動もあり、残念ながら私は傍聴には行けませんでした。終了時を見計らって中田議員さんにメールで確認し、全会一致で採択されたことを知りました。その後改めて、議会HPで本会議様子を確認し、健康福祉常任委員会委員長の報告、特に中田議員さんの賛成討論の内容には感動しました。(本議会の様子はHPで現在もご覧いただけます。)

長い報告になりました。陳情に対する進め方は行政により多少違いがあるかもしれませんが今回の松戸市議会への陳情が少しでもご参考になれば幸いです。(柴谷)

その他県内での動き(速報)

●市川市議会 「骨髄バンクドナー助成制度」創設に関する決議について 9月29日 全会可決

「市川市民の骨髄バンク登録者が、患者と適合したときには安心して提供できるよう、そして今後のドナー登録者をふやし一人でも多くの患者の命を救うことができるように早急な創設・実施が必要である。」とし可決。

●千葉市議会 「骨髄移植ドナーに対する支援の充実を求める意見書」を国に提出 6月24日 可決

「ドナーが安心して、骨髄等を多くの患者に提供することができる仕組みづくりが早急に求められる」とし国に対して意見書を提出。9月議会でも近藤市議より近隣の市町村での導入を挙げ、「千葉市での早期導入」を求める質問に対し、鈴木副市長から「他市を参考に検討」との答弁。

日本骨髄バンクと千葉県登録者数最新情報 (2016年8月末現在)

	全国(累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県(累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	462,068	+3,785	+8,479	13,587	+141	+244
累計患者登録者数	48,345	+550	+2,480	1,893	+16	+104
累計移植例数	19,629	+205	+1,037	612	+4	+31

夷隅准看護師学校での語り部授業

8月23日(火)、いすみ市にある准看護師学校で語り部授業をしてきました。司会に柴谷副会長、ドナーとして梅田会長、元患者として私が、骨髄バンク及び骨髄提供について語り部授業として120分お話致しました。新学期の初めの授業の一環として時間を頂き、チャンスを初め、梅田会長が用意した資料一式を配布しました。

この学校は2年制の専門学校で、語り部では1年生30人、2年生30人、教員の方々に清聴いただきました。

近日中に献血車が来校するとのことで、結果に結びつくかどうかは解りかねますが、少しでも命の尊さに意識が向いてくれたら、と思いつつ学校を後にしました。(河口)



四国漫遊記 その4 (全6回) 「金剛杖は同行人」

遍路らしいアイテムというと、菅笠、杖、白衣(びやくえ)になると思う。菅笠はとても便利で雨除け(ビニールカバーもあり)に日除け、蜘蛛の巣除けにもなる。紐タイプの物よりマジックテープ状の物の方が度々着脱するので便利。杖(金剛杖)はいわば墓標、墓印である。

墓標であるがゆえに名前は書いておく。昔、行き倒れになったらこれを活用したのかなあ?

12番焼山寺行き・遍路ころがしの山道沿いに地藏さん(石)が沢山あり気味が悪く感じたが、白衣が死装束であることも含め往時の苦勞が偲ばれる。

更に金剛杖はただの杖ではない。弘法大師様の身代わりとして共に遍路を行く同行人である(同行二人)。従ってお宿ではまず玄関で杖を洗い部屋の床の間(又は上座)に立てかける。そのほか、昔大師様が橋の下で宿をとったとの伝聞があり、橋を渡る際杖は突かず持って渡り睡眠を妨げないようにした。大変、お世話になった杖だが、最後は10cm位短くなって申し訳なく思うと同時に感謝で一杯だった。一つ注意。道路端側溝の蓋の穴に杖を突っ込まないよう気を付けよう。感謝といえば、道中での各種のご接待、遍路宿の方々の優しさは忘れてはいけませんね。(円東)



超近代的なお寺にびっくり! 61番 香園寺

こころからの寄付、ありがとうございます

遠藤信行様 2,000円 野田七夕まつり会場 4,498円
栗原安子様 2,000円 三井化学秋祭り会場 15,480円

今後(10~11月)の予定(お知らせ)

普及啓発活動

- ・浦安市役所での「いのちの輝き展」10月13日(木)~24日(月)
- ・ちばアクアライマラソン2016 10月23日(日)
- ・タオル帽子製作会 10月27日(木)

ドナー登録会

- ・順天堂大学さくらキャンパス 10月14日(金)
- ・野田市保健センター 10月15日(土)
- ・佐倉市役所 10月17日(月)
- ・木更津市役所 10月21日(金)

協力イベント

- ・「献血感謝のつどい」での講演(梅田会長) 11月1日(火)
- ・SNOW BANK PAY IT FORWARD 2016 11月12~13日

定例会予定

日時 11月6日(日)・12月4日(日) 14時00分
場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2、4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

<編集後記>

改装工事のために休所していた「モノレールちば駅献血ルーム」が、装いも新たに10月8日(土)10時にリニューアルオープンするそうです。2012年にリニューアルオープンした「津田沼献血ルーム」もファッションビルに入っているだけあって、カフェと見間違うほどのおしゃれなルームで、様々なイベントが企画され、当会も展示会等の活動の場として本誌で何度も紹介してきました。

おしゃれなルームは献血離れが言われる昨今、若年層への働きかけとしての工夫の一環なのでしょう。「モノレールちば駅献血ルーム」のオープンも新たな取り組みが期待されるところです。当会としても若年層への有効な企画を提案していきたいと思っています。